

実践例「学習指導の深化・充実」

「課題5 学ぶ意欲を高める指導方法の改善と充実」

I 学校名 伊達市立関内小学校【胆振管内】



II 研究の概要

1 研究主題

自ら学び、考えを深め合える「わかる・できる・たのしい」授業づくりを目指して
～ICT 機器を活用した授業の工夫～

2 研究内容

(1) 研究の視点について

①学習環境・ICT 環境の整備→【主体的な学び】

- ・ ICT 機器の使い方の習熟 ・ 学習環境の整備
- ・ 誰もが同じ立場で利用できるよう、端末利用時のルール作成、確認

②ICT 機器活用の工夫・指導の工夫→【対話的な学び】

- ・ どの場面で ICT 機器を活用するのか、授業の組み立ての工夫
- ・ ICT 機器を使っての児童の考えの交流 ・ 授業構成、学習形態の工夫

③学習意欲、思考力・判断力・表現力の向上→【深い学び】

- ・ ICT 機器での効果的な表現の工夫
- ・ 自ら考え、判断し、学習に取り組む児童の育成

(2) 具体的研究について

- ICT 機器の使い方の習熟
- 1人1台の端末利用時のマニュアル・ルール作り
- ICT 機器を活用した授業の組み立て
- オンライン授業、遠隔合同授業（道徳）、遠隔授業（外部講師活用）の実施

3 研究の年次計画

- | | |
|-----------|--|
| 2021 (R3) | 1 / 2 【計画・実践】 |
| | <ul style="list-style-type: none">・ ICT 機器の使い方をマスターする。・ ICT 機器活用の研究授業を行う。・ ICT 機器活用の意義を捉え、日常的な授業でも活用し、教育効果を上げる。・ ICT 機器の活用場面を増やし、授業づくりの工夫を図る。 |
| 2022 (R4) | 2 / 2 【実践・まとめ】 |
| | <ul style="list-style-type: none">・ ICT 機器活用の研究授業を行う。・ 教育効果を上げる ICT 機器の使い方を実践し、学習計画を作成する。・ ICT 機器活用の工夫、改善を図る。 |

Ⅲ 具体的な実践例（遠隔合同授業から）

第3学年遠隔合同学習（道徳）指導略案

日時	令和3年12月10日（金）4校時（11:30～12:15）
学年・組	3年 8名（関内6名、大滝2名）
授業者	入瀬 嘉子（T1：関内小）、足利 敬史（T2：大滝徳舜警学校）

- 1 主題名 他の国のとなかよくなるために【内容項目：C 国際理解、国際親善】
- 2 資料名 「マサラップ」（ぼくがALTの国について興味を持ち、異国の文化を通して仲良くなろうとした話）
- 3 本時
 - (1) ICT活用授業・オンライン授業時における身に付けさせたい力
 - ・jamboardの付箋機能を使う。
 - (2) 展開

	主な学習活動	児童の反応
導入	接続開始 ○外国の文化について、知っていることを交流する。(T1)	・知っていることを思い出す。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 他の国のとなかよくなるために、大切なことは何でしょう。 </div>	
展開	●「マサラップ」を読んで、話し合う。 (T1、T2それぞれの教室で資料の再生) ○発問①【どうして「ぼく」は、フィリピン語で「マサラップ」と言いたかったのでしょうか。】 (T1：全体進行 T2：操作補助) ・自分の考えをjamboardに記入する。 ・考えを交流する。 ○発問②【笑顔になったリサ先生を見て、「ぼく」はどんなことを思ったでしょう。】 (T1：全体進行 T2：操作補助) ・自分の考えをjamboardに記入する。 ・考えを交流する。 ○発問③【新しいALTの先生となかよくなるためにはどんなことをするといいいでしょう。】 (T1：全体進行 T2：話し合い補助) ・それぞれの教室で話し合う ・交流する。	※それぞれの教室で資料を聞く。(指導書DVDまたはQRコードから。アドボ・シニガンについての写真も) ・「ぼく」の思いを想像し、jamboardに考えを記入する。 ・記入したものを基に発表し、お互いの考えを共有する。 ・「ぼく」の思いを想像し、jamboardに考えを記入する。 ・記入したものを基に発表し、お互いの考えを共有する。 (関内) ザラとなかよくするためにどうすればいいか考え、話し合う。 (大滝) 関内小の子どもたちがどのようなことをすればいいか話し合う。 ・話し合ったことを交流する。
まとめ	○「世界とつながる」を読む。(T1) ○「学びの記録」に記入し、発表する。(数名) (T1、T2)	・「世界のいしょう」について読んだり写真を見たりして、外国の文化に触れる。 ・学習したことを振り返る。

遠隔合同授業 報告書

◆授業者 入瀬 嘉子（関内小） 足利 敬史（大滝徳舜警学校）

◆報告者 工藤 倫（関内小教頭）

日 時	令和 3 年 12 月 10 日（金） 4 校時（11:30~12:15）
学校名・学年	関内小学校 3 学年（6 名） 大滝徳舜警学校 3 学年（2 名）
題材名・単元名	道徳 「マサラップ」【 内容項目:C 国際理解、国際親善】
ねらい・目標	○他国のとなかよくなるために、大切なことは何か考える ○ICT 活用授業・オンライン授業時における身に付けさせたい力 ・ jamboard の付箋機能を使う

【授業の様子・児童の様子・学級の雰囲気】

- 3 回目ということもあり、緊張感は無く普通の教室で行う授業と変わらない雰囲気で授業がスタートした。
- 関内小の入瀬教諭が T1 として授業を行ったが、資料を読む場面ではそれぞれの学級で担任が読んだ。
- 前回の反省を生かし、児童の考えを交流する場面では、ホワイトボード（反射して見づらかった）ではなく、jamboard の付箋機能を使い、自分の意見や考えを貼り付けた。
- 児童の様子を見ると、jamboard の付箋機能を使うことに対する困難さはなく、交流もスムーズに行うことができた。
- 関内小でも大滝徳舜警学校側でも OBS の使い方にも慣れ、見やすい大きさに調整することができていた。



【成果と課題】

○成果

- ・子どもたちの様子を見ると、遠隔合同授業と教室で通常行っている授業との壁のようなものは感じられず、大滝徳舜警学校の3年生の友達を自然なかたちで受け入れている。互いを近くに感じながら、コミュニケーションをとることができていた。
- ・ jamboard の付箋機能については子どもたちは使い方をしっかりと理解し、交流もスムーズだった。
- ・ 常設の ICT 教室の使用により、機器の準備にかかる時間はあまりかからず、準備に係わる人数も減らすことができていた。

●課題

（大滝徳舜警学校）

- ・ 音声は PC からしか聞こえないので、若干聞きにくい時があった。
- ・ jamboard に記入する時間がかかってしまった。（文字を打ち込むのに慣れていないので・・・）
- ・ jamboard で一人の子の付箋が巨大化した時の修正方法が分からなかった。



（関内小）

- ・ 担任が見ている画面と子どもたちが見ている画面にズレがあった。jamboard の不具合と考えられるが、そのような時どう対処すればよいか。
- ・ 遠隔合同学習にも慣れ、スムーズに行えるようになってきたので、授業の中で T1、T2 を交代し、大滝徳舜警学校側が T1 として授業を進める場面も増やしていきたい。

IV 成果と課題

1 成果

○端末（クロームブック）の使用の方法は、児童も教師側も慣れてきて、授業で活用することができている。

○授業のどの場面で、どの機能を使うのか、適切に使用するように判断できている。

2 課題

○端末を使っでの児童相互の交流の仕方をよりよくするには、どのような改善が必要か。

○端末の操作方法の個人差への対応。

IV 資料

1 関内小 ICT 活用授業・オンライン授業時における身に付けさせたい力

1・2年	3・4年	5・6年
<ul style="list-style-type: none"> ・meet に参加する ・タブの切替ができる ・マイク機能を使う ・音声の切替ができる ・音量を調節できる ・アナライズカードを使う ・フォームの回答をする ・ローマ字表を見ながら文字が打てる ・動画を視聴する ・動画を撮影する ・カメラ機能を使う ・画像をスクールタクトのワークシートに貼り付ける ・ワークシートにタッチペンで書く ・ワークシートを提出する ・ワークシートを共有する ・jamboard の図形機能を使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・meet に参加する ・タブの切替がスムーズにできる ・マイク機能を使う ・レイアウト機能を使う ・フォームの回答をする ・キーボードで短い文章が打てる ・動画を視聴する ・動画を撮影する ・カメラ機能を使う ・画像をスクールタクトのワークシートに貼り付ける ・ワークシートにタッチペンで書く ・ワークシートを提出する ・ワークシートを共有する ・スクールタクトのワークシートに回答する ・チャットを使う ・jamboard の付箋機能を使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・meet に参加する ・タブの操作（複製、閉じたタブを開くなど）ができる ・マイク機能を使う ・レイアウト機能を使う ・フォームの回答をする ・キーボードで文章が打てる ・フォームを作成する ・動画を視聴する ・動画を撮影する ・カメラ機能を使う ・画像をスクールタクトのワークシートに貼り付ける ・ワークシートにタッチペンで書く ・ワークシートを提出する ・ワークシートを共有する ・スクールタクトのワークシートに回答する ・チャットを使う ・jamboard の各ツールを使う ・Google ドキュメントで文書を作成する